

有線通信機器市場要覧2002～2007

～主要13製品の現状の市場分析と2007年度までの市場予測～

移動体通信・IT専門の調査会社である株式会社MCA (<http://www.mca.co.jp/>)は主要有線通信機器/端末製品13分類(27品目)の市場分析を行った調査レポート「有線通信機器市場要覧2002～2007」(価格:39,900円/税込み)を10月20日に発刊した。

2003年の国内有線通信機器市場(対象13品目)は約3,700億円で市場規模は前年に対して約2%の縮小を示した。そのなかで機器間では好不調の明暗がはっきりと分かれた結果になっている。

2003年の通信機器市場は、ブロードバンド化・IP化の進展に伴う関連機器の需要増加が市場の牽引役となったが、通信事業者の設備投資額の減少傾向(従来型からIP関連機器へのシフト)や、従来型非IP関連機器の減少傾向が大きなマイナス要素となり前年度比1.9%減という全体的には厳しい状況が継続している。しかし、中期で見る通信機器市場は、「ブロードバンド化」「IP化」「モバイル化」の一層の進展が鍵となり、これらが通信機器市場の成長に確実に寄与するものと思われる。ネットワークの高度利用が莫大なトラフィック量を生み、端末・ネットワークインフラなどのハード需要を促進させるという相乗効果が期待される。

2004年も前年に引き続き厳しい市場環境であり、約3,750億円と前年費1.3%の微増状況である。しかし企業通信ネットワークの主流がオールIP化に進展するなかで、機器間の明暗ははっきりと別れた。今回の調査対象である13分類中、半分以上の8分類(27品目中14品目)が対前年比で減少を示している。

情報通信機器・サービス市場は、2001～2003年度にかけて急速な市場環境・構造の変革期を迎えた。IPネットワークの進展により機器やサービスのIP化、料金・機器の価格競争、ハード中心の収益構造からソフト(ソリューション)への移行などである。有線通信機器市場も従来型の構造からコスト面で安価なIP網設備やIP端末・装置を中心としたIP対応型の構造へと大きな変化を遂げてきた。そして、この構造変化の影響は2004年以降も継続していく。

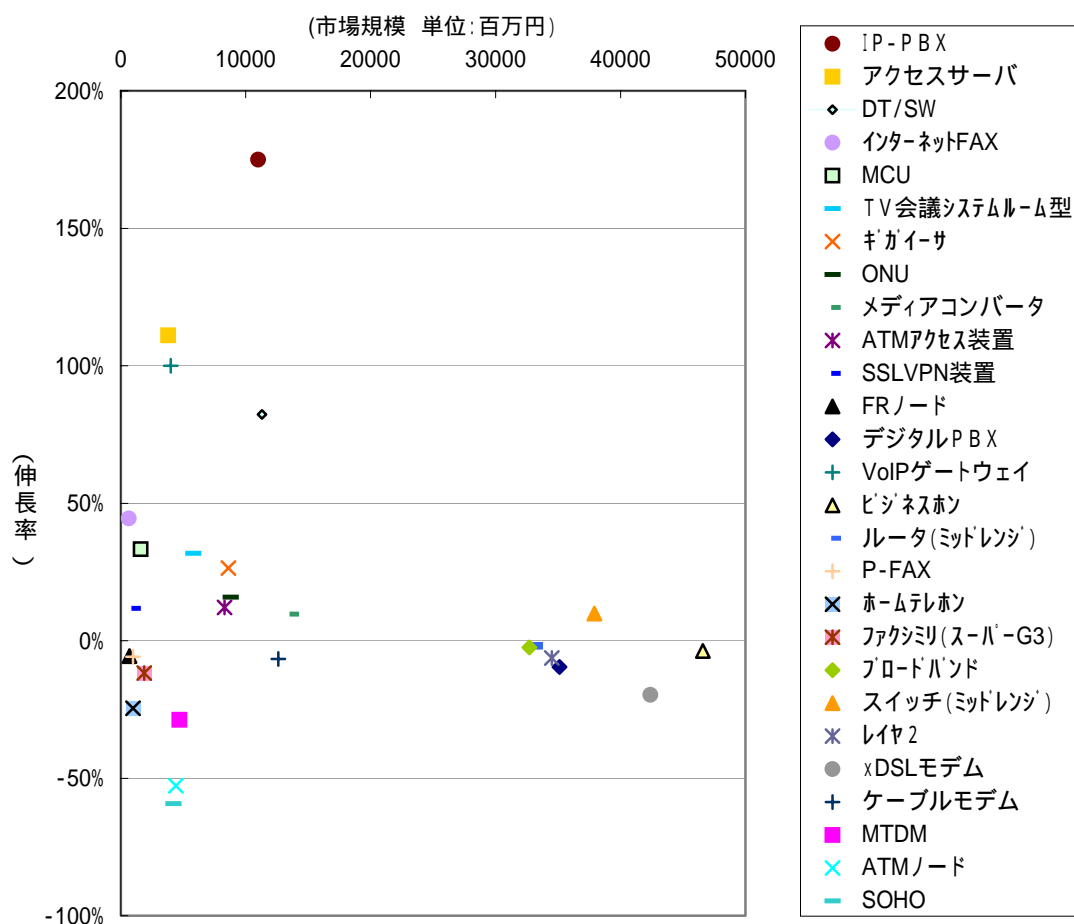
調査対象品目

有線通信機器 13分類 27品目

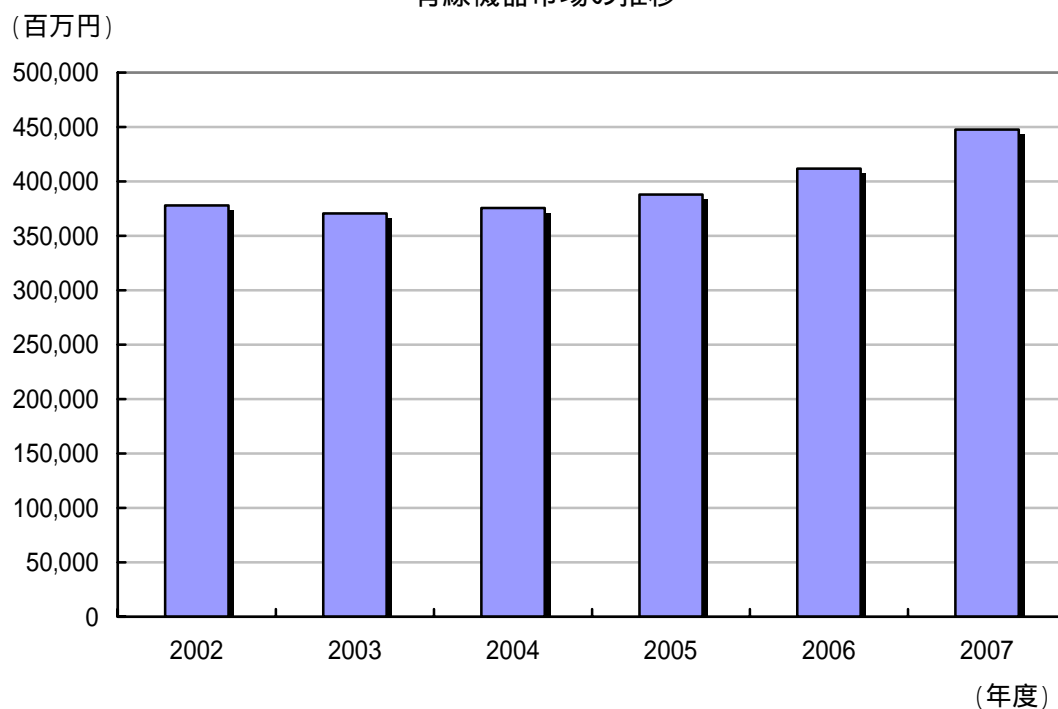
ファクシミリ	ルータ
デジタルPBX	アクセスサーバ
WANノード	LANスイッチ
IP-PBX/ゲートウェイ	XDSLモデム
デジタルボタン電話	ケーブルモデム
VPN装置	メディアコンバータ
テレビ会議システム	

調査結果抄録

- 2003年の有線通信・端末市場規模は、約3700億円で前年比は2%減である。
- 2004年も前年に引き続き厳しい市場環境であり、約3750億円とほぼ横ばい状況である。
- 企業通信ネットワークの主流がオールIP化に進展するなかで、機器間の明暗は別れた。
- 13分類中、半分以上の8分類(27品目中14品目)が対前年比で減少を示している。
- 企業通信の内線電話がVoIPで構成されるようになり、また、キャリアがIP電話サービスを本格化させたことから、IP-PBX・VoIPゲートウェイなどの市場規模は大きく伸びている。
- IP-VPN・インターネットVPNサービスの市場が堅調なことからVPN装置(SSLVPN装置含む)などは市場を大きく拡大させている。
- ADSLサービスやCATVインターネットサービスの需要が落ち着きを見せてきたことから、xDSLモデムやケーブルモデムは減少に転じている。
- ADSLサービスに遅れをとったFTTHサービスが徐々に進展してきたことから、メディアコンバータの需要は拡大傾向にあるがxDSLモデムをぬくのは2006年と予測される。



有線機器市場の推移



調査資料の詳細

発行日: 2004年10月

判型: PDF形式によるダウンロード販売

ページ数: 87ページ

発行・販売: 株式会社エムシーエイ

〒106-6138 埼玉県さいたま市南区南浦和 2-3-2 日栄ビル

TEL: 048-813-7395 FAX: 048-813-7399

URL: <http://www.mca.co.jp> E-mail: info@mca.co.jp

頒価: 39,900円(税込み)

調査期間: 2004年6月~9月

資料の先問い合わせ先

株式会社エムシーエイ(<http://www.mca.co.jp/>)

E-mail: support@mca.co.jp

TEL: 048-813-7395 FAX: 048-813-7399